

矢作川流域圏懇談会通信

H26 海部会編 vol.9



発行日：平成 27年 1月
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第6回海の地域部会を開催しました！

1月14日に第6回海の地域部会を開催しました。平成26年度の活動成果を共有し、来年度の活動計画について、話し合いを行いました。

日時：H26年1月14日（水） 14:00～16:30
活動場所：西尾市役所 5F 52 会議室
参加者：19名（事務局含む）



◆主な会議内容

1：今年度の海部会の活動成果報告を共有しました



【主な内容】

- 活動の進捗がうまく整理されていて良い。
- 砂が固くなるなどの人工干潟の問題点の指摘があったことを書いておきたい。
- 矢作ダムの砂を使った干潟の試験造成は、実現することが決まったことを確定的に書いた方が良い。

2：来年度の活動計画について話し合いました



【主な内容】

- ①ごみ、流木問題：山と連携して調査や流木再利用の検討等を行いたい。また、愛知県や東幡豆漁協の活動とも交流できると良い。
- ②豊かな海の生物調査：新たに造成する干潟での生物調査を中心に検討していく。また、三河湾の東西のプランクトン状況等を勉強できると良い。
- ③海と人との絆再生：新たに造成する干潟で観察会や漁業者・山部会と交流をして、若い人を海に呼ぶための雰囲気づくりなどの検討も含めて、外に向けて情報発信していきたい。
- ④干潟・ヨシ原再生：干潟造成の工事が完了したら、現地を見て親睦会もしたい。また、川や干潟と連携して、ヨシ原の再生を継続検討していく。

<来年度の活動計画（案）> ◎：山・川・海で連携した活動



【テーマ①】ごみ・流木問題

- ①山・川と連携したごみ・流木調査の実施 ◎
- ②他団体の活動との交流

【テーマ②】豊かな海の生物調査

- ①メンバーの専門性を活かした勉強会の開催
- ②生物モニタリング調査の検討

【テーマ③】海と人との絆再生

- ①啓発イベントの検討・実施 ◎
- ②漁業関係者との交流 ◎

【テーマ④】干潟・ヨシ原再生

- ①矢作ダムの砂を使って試験造成する干潟の保全・活用方策の検討 ◎

※話し合い中のご意見は裏面に記載しています。

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、建設専門官 真柄
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@iijnet.or.jp) までお送りください。



◆話し合いでの主な意見（・意見 ▶回答）

■来年度の活動計画について

①ごみ・流木問題

- 山部会のメンバーに来てもらい、実態の共有や樹種調査をしたい。（高橋）
- 薪ストーブの燃料として売れないか。（高橋）
- 漁協の女性部で海岸清掃する時は、流木などの重いものは油をかけてその場で燃やしている。（鈴木）
- 木づかいとの連携という点では、流木を製品化にして使えないか。（国立）
 - スギダラケのデザイナーは流木に足をつけて椅子やテーブルをつくっていた。（高橋）
 - 芸大の学生や彫刻を専攻している学生に参加してもらおうとよい。（松井）
- 今年の佐久島で行ったような啓発活動を来年度も検討しており、海部会と連携したい。また、川や海岸で実施した様々な調査の結果を来年度に情報提供したい。（国立）
- 愛知県の補助事業に採択されれば干潟の自然観察会などで来年度も連携したい。（石川）
- 山と海で認識のずれがないか。山の実情を見に行ってしまうか。（国立）
- 流木の循環システムを流木マップで見える化できないか。（浅田）
- 人由来のゴミ問題は愛知県と連携して啓発したり、ウミガメがビニールを食べて死んでいるなどの現実の問題も取り上げてはどうか。また、ヨシやアマモなどの自然由来のものは生態系を支えている。（石田）

②豊かな海の生物調査

- 知多湾と渥美湾のプランクトンの状態を調査して比較できるとよい。（石川）
- 絶対量ではなく、餌となるプランクトンが増えるかが重要。そのために、あるべき土地利用や山の扱い方を上流域に提言することが次の課題。（井上）
- 衣食住で考えると、プランクトンは食、干潟は住の問題。生き物の衣食住の切り口で発信したい。（井上）
- 六条干潟や一色干潟も含めて三河湾全体で考えていきたい。（松井）
- 新たに試験造成する干潟での生物調査が来年度の中心になる。（青木）
- 夏までの間に年2～4回コドラート等のモニタリング調査をしてはどうか。（石川）
- 定量的にもれなく調査することは現実的ではない。例えばアサリの稚魚などに着目して春に頻りに調査する方法もある。また、特定の場所とてかくわかる生物を全部取り上げて、3ヶ月後、半年後、1年後でどう増えていくかを調べてはどうか。（石田）

③海と人との絆再生

- 新たに試験造成する干潟で観察会などもできる。漁業者との交流会もしたい。干潟を核に向けて情報発信していきたい。（青木）
- 海部会のメンバーにも来てほしい。流木も見つけられるとよい。トンボロ干潟はフランス語らしい。（高橋）
- トンボロ干潟の名前がもっと広まるとよい。アサリのムニエルか何かフランス料理をすればよい。（浅田）
- 夏休みの間がよい。その後は潮が引かなくなる。発信次第で広がりが出てくる。（石川）
- 一遍寺海岸では地中海風のおしゃれなピザ屋が海辺にある。若い人を海に呼ぶような雰囲気づくりも大事。西浦にはシーカヤックもある。（高橋）

④干潟・ヨシ原再生

- 矢作ダムを砂を使った干潟の試験造成について、矢作ダムのダンプ6杯分の砂を2月の中旬～下旬にトンボロ干潟付近まで持ってきて仮置きし、3月の中旬に船を使い10m×10m×50cmの範囲に海上投入することが決定した。（西原）
- 造成後、大潮で引く時に、一回集まって入れ込みのようにならないか。完成を見ておきたい。（青木）
- 工事が終わったら確認に行き、前島で親睦会をしたい。（高橋）
 - 干潮になる3月21日付近しかない。（西原）
- ヨシ原は、ヨシエビだけでなくいろいろな生き物のゆりかごになり、水の浄化や栄養分も流す。干潟があってその奥にヨシ原があるのが一番よい。（高橋）
- おそらく海にあったヨシ原はほとんどなくなっているが、アマモがあって干潟があって、その背後にヨシ原があるのが三河湾の海岸線の原風景。鳥を寄せるだけでなく、海の生き物に対しても持っているヨシ原の様々な機能を明らかにしていきたい。（石田）
- 皆で理想像を共有した上で数十年かけて実現化させたい。（浅田）



ふりかえり 会議後にご記入いただいた、ふりかえりシートの内容の一部をご紹介します。



よかったことと思うこと：目標に掲げられている「親しみやすい豊かな海」の実現に関して、干潟の造成は海の生き物の衣食住から見ると「住」になる。今日渥美湾と知多湾のプランクトンの違いの指摘があった。これは海の生き物の「食」の問題と考えられる。この面から山・川部会との連携が生まれる可能性が出てきた。/とりあえずダンプ6杯分の砂がトンボロに入る事が決まり、小さい範囲でも取り込みが始まる事は良いと思います。/個人の方や様々な団体の意見を聞いて勉強になりました。/干潟造成の試験的事業は出席者全体の興味があり、生物調査の重要性を感じました。/海部会の初めての参加に参加者・活動の概要がわかった。/わきあいあいとしたおたやかな話し合いで進められていたのが良かった。/矢作ダムの砂で干潟造成が決まったんですね。/皆さん協力的に意見が出されていた矢作ダムの投入が実現でき今後は楽しみにする。/これまであまり海部会に参加していなかった方の質問への答えで、海部会のスタンスが再確認・共有できたこと。/干潟造成ができることが決まったこと。来年度の生物調査が気になることである。

よくなかったと思うこと：私自身がまだリアル感を持って発言できなかった。海部会の今後の活動をまだ理解できていない。/私が久しぶりの参加なのでついていけないことが多かった。/自分の意見がなかったこと。

来年度取り組んでいきたい活動など：「一色川の水辺を美しくする会」の活動日に参加してみたい。/三部会全体で海の事を討論してはどうか?/ダム砂の人工干潟の近くでWG開催する?/伊勢三河流域圏のESD拠点活動(中部ESD-RCE拠点)と矢作川流域圏懇談会(山川海)をつなぎたい。/まずは矢作川と流域圏を知ることから。/ひとつずつでも具体的な取り組みが進むと良いと思います。干潟造成に関してですが。/三河湾全体を見てほしい。/地元産チリメンモンスターを入手し、浮遊幼生を通じての海の環境学習/南知多某漁村で子どもたちによる聞き取り調査の準備/生物調査への参加。/干潟再生箇所のモニタリングが楽しみ。何かのイベントと関連させて、発信できると良いと思います。/干潟再生の1歩の矢作ダム砂の投入がたのしみです。/ヨシ原での生物調査もぜひ行いたいので、よろしくお願ひします。

質問など：三河湾では貧酸素、硫化水素の発生場所の調査が進んでいると聞いているのでその中間報告でも良いので聞いてみたい。/流木の循環。流木の存在は悪か善か?有効活用の循環(リサイクル)を考えたい(グッスなど)。その際「流木」の管理責任と権利はどこにあるか?/流木の発生とルート、海岸での処理の理想形の推進母体はどこか?/

今後のスケジュール(予定)



第4回全体会議を2月24日(月)に開催します。

矢作川流域圏懇談会全体の平成26年度のとりくみの総括と今後の方針について意見調整します。

